据え付けについて

据付工事や電気工事は専門の技術が必要ですので，販売店に依頼してください。（据付工事や電気工事は有料です。）据付場所の選定や電源の取りかたについては，販売店と相談して決めてください。
なお，アースは感電防止のほか静電気のいたずらや雑音を防ぐ効果もありますので，必ず設置してください。

■据付場所

- 除湿水排水ホースから除湿水が出ますので，水はけのよい場所をお選びください。
- 室内ユニットおよびリモコンはテレビやラジオから１ｍ以上離してください。
  映像の乱れや雑音が入る場合があります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところや，蒸気・油煙などの発生するところはさけてください。
- 温泉地など硫化ガスの発生するところ，海辺地区で潮風があたる場所などに据え付ける場合は，腐食などにより故障の原因になることがありますので，お買い上げの販売店にご相談ください。

■騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては，エアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で，騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- エアコンの室外ユニット吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- エアコンの室外ユニット吹出口の近くに物を置きますと，機能低下や騒音増大のもとになりますので，吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンをご使用中に異常な音がする場合などは，お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源について

- 電源は，配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

■アースについて

- 万一漏電したときの感電防止のため，アースは必ずしてください。
  アースをしますと，感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気のいたずらや，リモコン操作時にテレビ，ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
  詳しくは，お買い上げの販売店にご相談ください。（アース工事は有料です。）
- 次のようなところにアース線を接続しないでください。
  ①水道管
  ②ガス管
  爆発のおそれがあり危険です。
  ③電話線のアースや避雷針
  落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

- 漏電遮断器について
  据付場所によっては，漏電遮断器を設置することが法規で義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

ご使用方法のご相談は，お買い求めの販売店が承っておりますが，販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は，下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコーくらしのダイヤル── 家電品のお買物相談は…
0120-312111
（フリーダイヤル・無料　年中無休9～20時　東京で受信）

株式会社 日立家電
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

日立冷熱株式会社
〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話(03)3255-7271

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

Hitachi Printing RAM-251BW RAM-280BW RAM-351BW ©

取扱説明書

日立ルームエアコン

冷房/暖房/センサードライタイプ〈セパレート壁掛形〉

HITACHI
──品質を大切にする〈技術の日立〉──

室内ユニット
RAM-251BW形
RAM-280BW形
RAM-351BW形

セパレートマルチ

とじて保存しましょう

このたびは日立ルームエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり，正しくお使いください。

お読みになったあとは，保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

目　次

特　長

●冬・夏そして梅雨どきと長い期間使える………　**ワイドシーズンタイプ**

季節に応じて，暖房・冷房・センサードライ運転ができます。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暖	房				センサードライ	冷	房	センサードライ		暖房	

暖房運転　外気の熱（ヒート）をくみ上げて（ポンプ）室内に運ぶヒートポンプ暖房と補助ヒーターで部屋を暖めます。

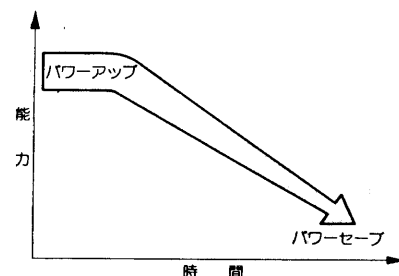
冷房運転　部屋の熱をくみ上げて，その熱を室外へ放出して部屋を冷房します。

センサードライ運転　梅雨どきなどジメジメしてうっとうしいときに，センサーの働きでお部屋をカラッと除湿します。(このとき室温は少し低下します。)

●部屋の温度に応じて
　暖房あるいは冷房能力を自動制御……　**能力自動制御**

暖房運転開始時など室温が低いときは圧縮機の回転を高速にして暖房能力をアップ，お部屋の温度が高くなると自動的に圧縮機の回転を低速にし，暖房能力を押えた効率のよい運転を行います。

したがって一般のエアコンに比べて断続(運転・停止の繰り返し)が少なくなりますので，室温の変動が少なく，快適で省エネにも優れた暖房を行います。

冷房時は，暖房とは反対に，室温が高いときには冷房能力をアップ，快適室温に近づくと冷房能力を押えた効率のよい冷房運転を行います。

●１台の室外ユニットで複数の部屋を暖・冷房………　**マルチシステム**

１台の室外ユニットで，１部屋だけでも複数の部屋でも，お部屋の必要に応じて自由に暖房または冷房・センサードライ運転することができます。

（ただし，同時に冷房と暖房運転を行うことはできません。
冷房運転とセンサードライ運転は，同時運転可能です。）

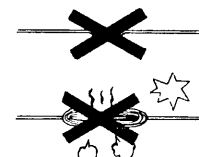
●居住する部屋を暖・冷房または，センサードライ運転するエアコンです。

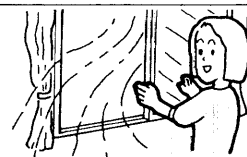
農・工業用空調など，他の目的には使用しないでください。

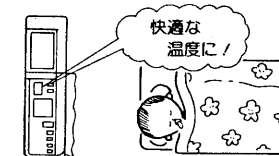
安全のため特に注意していただきたいこと

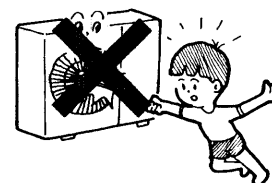
電源は単相200V（ボルト）

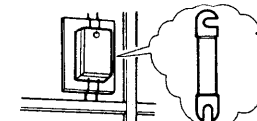
他の電源を使いますと，電気部品が過熱したり，焼損する原因になります。

電源配線はていねいに

電源配線はていねいに扱ってください。
配線がいたみますと焼損や漏電のおそれがあり危険です。

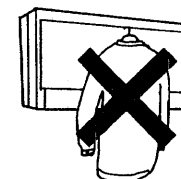
ときどき換気を

部屋を閉め切ることが多くなりますので，ときどき換気をしてください。
ガス器具といっしょに使う場合は，特にご注意ください。

暖め過ぎ・冷やし過ぎにご注意を

特に，乳幼児・お子様・お年寄り・病気のかたが利用する場合は，周囲のかたが常に注意して，温度や風向きを調節してあげてください。

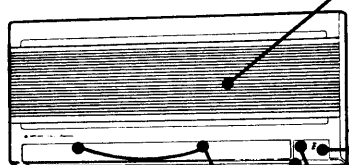
棒などを入れないで

室内ユニット・室外ユニットの吸込口・吹出口に細い棒などを入れないでください。
ファンが高速で回転しているので危険です。

ヒューズは正しいアンペアのものを

ヒューズの代わりに針金や銅線などを使わないでください。
故障や火災の原因になります。
（ブレーカーが設置されてなく，図のような安全器（ヒューズ）をお使いのご家庭の場合。）

暖房運転時のご注意

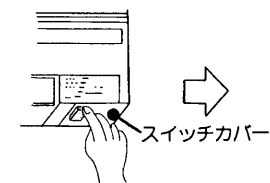
●空気吹出口や室内ユニット前面に障害物を置かないでください。
　温風吹出口や風向板が変形する原因になります。
●温風吹出口の近くには，温風で変形するものは置かないでください。

各部の名称と働き

室内ユニット

吸込口

電源スイッチ
(詳しくは☞5，7，9，11ページ)

フィルターリセットボタン
(詳しくは☞19ページ)

応急運転スイッチ
ふだんは使いません。(詳しくは☞15ページ)

リモコン収納部

スイッチカバー

受信部に指をかけスイッチカバーを開きます。

表示部を左上側にして収納します。

※取り出す時はリモコンを一度上へ押します。

表示部
運転状態をランプでお知らせします。

受信部
リモコンからの信号を受信します。受信したときは受信音“ピッ”がします。

フィルター
空気中のホコリがエアコン内部に入るのを防ぎます。(詳しくは☞19ページ)

風向調節板(吹出口)
上下・左右の風向きを調節します。
(詳しくは☞16ページ)

リモコン
(詳しくは☞右ページ)

室外ユニット

配管と接続電線

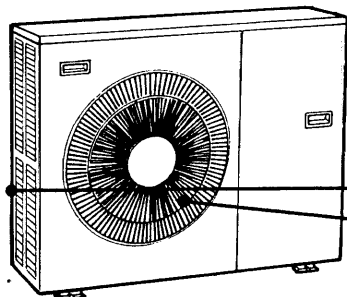
除湿水排水ホース
除湿水を室外へ排水します。(冷房運転・センサードライ運転時)

吸込口(背面)

吹出口
冷房時・センサードライ時は温風を，暖房時は冷風を吹き出します。

(RAC-600BHM3形の場合)

リモコン

……（このリモコンはマルチタイプの壁掛形ユニット専用です。他のユニットには使えません。）

運転内容をセットし，主操作ボタンで室内ユニットに送信します。送信距離は約7mです。
(部屋の照明が電子点灯形の場合は，送信距離が短くなることがあります。)
付属の取付具で柱などに固定して使うこともできます。この場合は，事前に本体が受信できることを確かめ，取付位置を決めてください。

送信部・送信マーク
送信するときは，室内ユニットに向けてください。なお，このとき送信マークが点滅します。(時刻設定ボタン，選択ボタン，現在時刻ボタンは除く)

表示部
設定室温，現在時刻，タイマー運転モード，運転モードおよび風速モード等を表示します。

室温調節ボタン
設定室温を変更します。(詳しくは☞10ページ)

主操作ボタン
運転および停止をします。

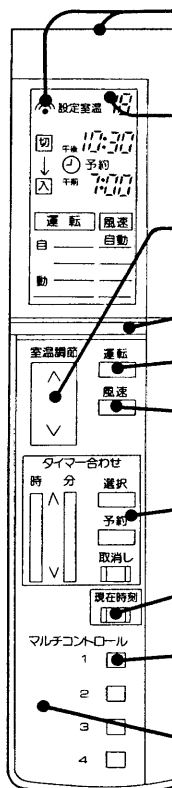
運転モードボタン
運転モード(自動→暖房→ドライ→冷房→送風)を選びます。

風速モードボタン
風速モード(自動→強風→弱風→微風)を選びます。

タイマー運転設定
タイマーをセットするときに使います。(詳しくは☞13ページ)

現在時刻ボタン
現在時刻を表示したり，変更するとき使います。
(詳しくは☞13ページ)

マルチコントロールボタン
(別売りの受光コンセントを設置したときに使います。ただし，別売りのエアコントロールユニットを使用してもエアコンを運転することはできません。)

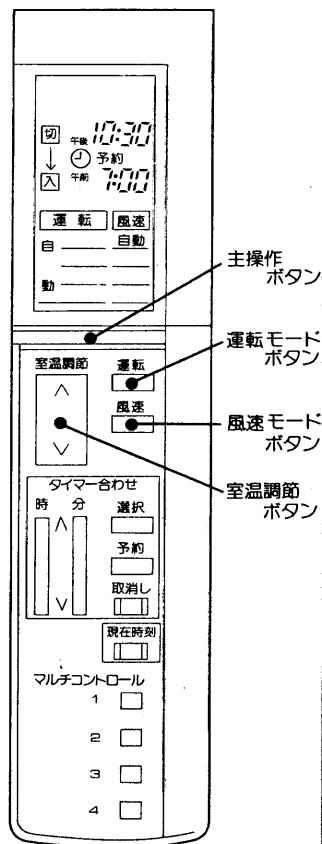
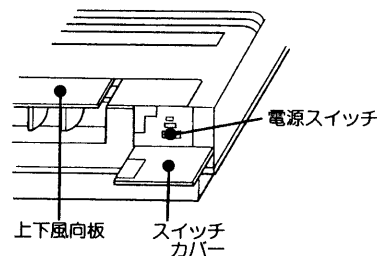
電池収納ケース(裏面)
電池交換のしかたなど。(詳しくは☞16ページ)

リモコン使用上の注意

- **次のような温度が高くなるところに置かないでください。**
  正しい運転ができなくなることがあります。
  - **直射日光のあたるところ**
  - **ストーブの近くなど**
- **リモコンはていねいに取り扱ってください。**
  落したり，水がかかったりしますと，送信できなくなることがあります。
- **室外ユニットが運転を停止しますと，約3分間は運転を再開しません。(ブレーカーを入・切したときを除く。)**
  これは機械を保護しているためで故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。
- **運転中に「運転モードボタン」を押しますと保護回路の働きで約3分間運転を停止することがあります。**

運転のしかた

一度セットした内容は記憶されています。
次回からは主操作ボタンを押すだけで同じ運転ができます。

1 自動運転

準 備
- ブレーカーを運転する5時間以上前に〝入〟にします。（詳しくは☞18ページ）
- 電源スイッチを〝入〟にします。
- 上下風向板を暖房あるいは冷房・センサードライの位置にします。（詳しくは☞16ページ）

1 運転モードボタン 〝自動〟モードを選択します。

運転 表示部に〝自動〟を表示させます。

室温により自動的に暖房，センサードライ，冷房のいずれかの運転をします。

冷　　房：お部屋の温度が約27℃以上のとき。
センサードライ：お部屋の温度が約23～27℃のとき。
暖　　房：お部屋の温度が約23℃以下のとき。

2 主操作ボタン

押します。

運転ランプが点灯します。

室温調節ボタン

セット不要です。自動的に次のようになります。

冷房のとき：約27℃にセットされます。
センサードライのとき：お部屋の温度より少し低い温度にセットされます。
暖房のとき：約23℃にセットされます。

自動的にセットされた温度では暑い，または，寒いと感じたら室温調節ボタンを押して設定室温を変えてください。
（詳しくは☞右ページ）

風速モードボタン

セット不要です。〝自動〟にセットされ次のようになります。

冷房のとき：スタートは〝強風〟で，セット温度になると〝弱風〟になります。
センサードライのとき：〝微風〟で運転します。
暖房のとき：吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変ります。

タイマーをセットしたいときは
「タイマーセットのしかた」（☞13ページ）をごらんください。

設定室温を変えたいとき

自動運転での，設定室温は自動的に決められていますが，暑い，寒いを感じたら，室温調節ボタンを押して，設定室温を変えてください。

室温調節

∧ — 寒いと感じたとき：１回押すと設定室温が１℃上がります。なお，設定室温は３℃上げられます。

∨ — 暑いと感じたとき：１回押すと設定室温が１℃下がります。なお，設定室温は３℃下げられます。

お願い
自動運転では，設定室温が表示されません。設定室温を変更したときに，室内ユニットからの受信音〝ピッ〟で変更したことを確認してください。

自動運転中は，次のランプが点灯します。

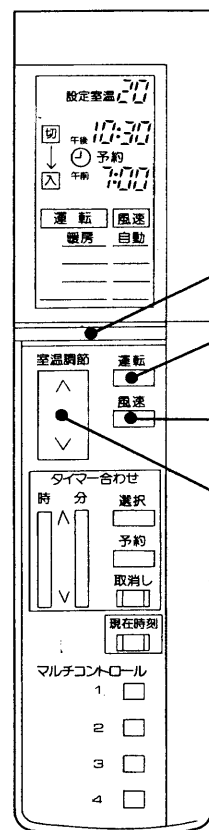
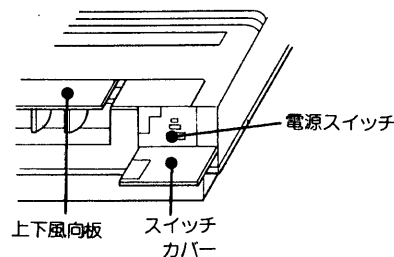
本体表示部

運転：運転中のとき。
タイマー：タイマーがセットしてあるとき。
ホットキープ：暖房運転のとき点灯します。（詳しくは☞8ページ）
パワーモニター：圧縮機の運転状況をお知らせします。パワーモニターが多く点灯しているときは圧縮機を高速で運転し，パワーアップを必要としていることを，反対に少ないときは低速で効率の良い運転をすることを表わします。従って通常は室温が設定室温に近づくにつれパワーモニターの点灯は少なくなります。なお，室温が設定室温に達し，運転が停止しますとパワーモニターは消えます。

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

ご注意 ●お好みの運転モードにならないときは，他のお部屋が違う運転モードで運転されている場合がありますのでお調べください。

2 暖房運転

準備
- ●ブレーカーを運転する5時間以上前に"入"にします。（詳しくは☞18ページ）
- ●電源スイッチを"入"にします。
- ●上下風向板を暖房の位置にします。（詳しくは☞16ページ）

1
運転モードボタン／"暖房"モードを選択します。

運転 表示部に"暖房"を表示させます。

2
室温調節ボタン／お好みの室温をセットします。

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

（詳しくは☞10ページ）

設定室温は"18～22"が暖房時に適した使用範囲です。
"18"にセットすれば部屋の温度はほぼ18℃になります。
なお，セットした数字と部屋の温度は，使用環境によって多少異なることがあります。

3
風速モードボタン／お好みの風速をセットします。

風速 表示部にお好みの風速を表示させます。

「自動」：風による肌寒さが少ない快適な運転を行います。
「強風」：暖まりが速く経済的な運転を行います。ただし，運転開始時は風による肌寒さを感じることがあります。
「弱風」：静かな運転を行います。
「微風」：より静かな運転を行います。
なお，"強風"または"弱風"にセットしても，運転開始時は肌寒さを防ぐため，"微風"でスタートします。

4
主操作ボタン

押します。

運転ランプが点灯します。

タイマーをセットしたいときは

「タイマーセットのしかた」（☞13ページ）をご らんください。

お願い
- ●**外気温度21℃以下でお使いください。**
（**外気温度が21℃を超えると，保護装置が働いて室外ユニットが停止することがあります。**）
- ●暖房運転にしても冷房運転になってしまったり，いつまでも運転されないときは，他の部屋が先に異った運転モードで運転されていないかお調べください。

暖房運転中は，次のランプが点灯します。

本体表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

ホットキープ：次のときに点灯します。点灯中は風が出ません。これは送風による肌寒さを防ぐためで，しばらくしますと暖かい風が吹き出します。

①予熱中
運転開始直後の約2～7分間。
また，お部屋の温度が低いときには，運転開始すると冷風吐出防止機構が働きやすくなり，室内ファンが断続することがあります。

②霜取中
室外ユニットの熱交換器に霜がつきますと，霜取りを行います。霜取りの頻度は，約70分に1回，1回の霜取り時間は5～10分程度です。

③部屋の温度がセットした温度になったとき。

パワーモニター：**暖房運転時の圧縮機の運転状況をお知らせします。**
（ハイパワー／セーブパワー）
パワーモニターが多く点灯しているときは圧縮機を高速で運転し，パワーアップ暖房を必要としていることを，反対に少ないときは低速で効率の良い暖房運転をすることを表わします。従って通常は室温が上昇するにつれパワーモニターの点灯は少なくなります。なお，室温が設定室温に達し，暖房運転が停止しますとパワーモニターは消えます。

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

次のようなときはオートフレッシュ除霜がはたらきます。

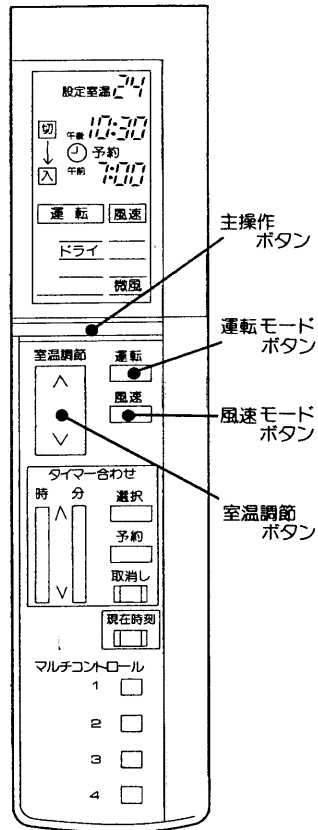
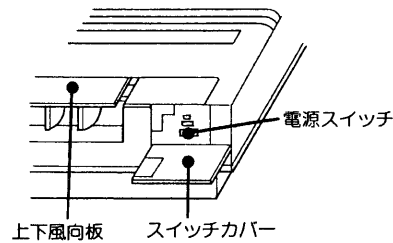
主操作ボタンやタイマーで暖房を停止したとき，室外熱交換器の着霜を検出し，霜が付着している場合は，オートフレッシュ除霜がはたらき，除霜運転を行います。除霜運転時間は5～10分程度で，ホットキープランプが点灯します。

ご注意
- ●寒い日は，間隔をおかないで2室または3室の運転を開始しますと，後から運転した部屋がなかなか運転開始しないことがあります。他の部屋が暖まるまでしばらく待ってから運転してください。

3 センサードライ運転

準　備
- ブレーカーを運転する5時間以上前に"入"にします。（詳しくは☞18ページ）
- 電源スイッチを"入"にします。
- 上下風向板をドライの範囲にします。（詳しくは☞16ページ）

1 運転モードボタン

"センサードライ"モードを選択します。

運転 表示部に "ドライ" を表示させます。

2 室温調節ボタン

お好みの室温をセットします。

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

（詳しくは☞右ページ）

設定室温は "20～26" がドライ時に適した使用範囲です。

（詳しくは「センサードライ運転のしくみ」）

3 主操作ボタン

押します。

運転ランプが点灯します。

風速モードボタン

セット不要です。

自動的に "微風" 運転になります。

タイマーをセットしたいときは

「タイマーセットのしかた」（☞13ページ）をごらんください。

お願い

- センサードライ運転にしても，暖房運転になってしまったり，いつまでも運転されないときは，他の部屋が異った運転モードで運転されていないかお調べください。

設定室温のセットのしかた

室温調節ボタンを押すごとに1℃ずつ設定室温が変わります。

室温調節
- ∧ 設定室温を上げるとき：1回押すと1℃上がります。
- ∨ 設定室温を下げるとき：1回押すと1℃下がります。

センサードライ運転中は，次のランプが点灯します。

本体表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

パワーモニター：運転開始時の1分間および室温が設定温度より約3℃高いときはパワーモニターが2個点灯しますが通常は圧縮機が最低速で運転しますのでパワーモニター点灯は1個となります。なお，室温が設定室温に達し，センサードライ運転が停止しますとパワーモニターは消えます。
（ハイパワー／セーブパワー）

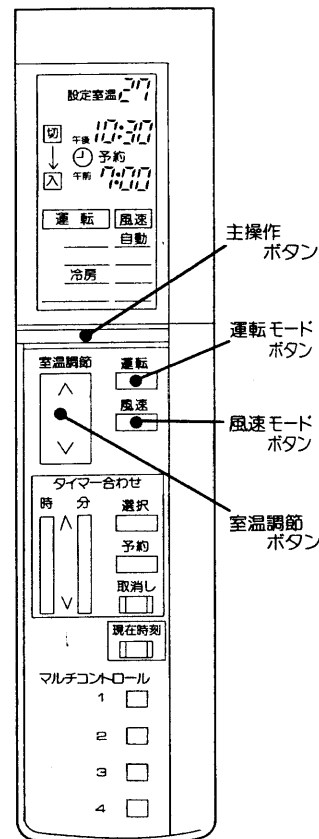
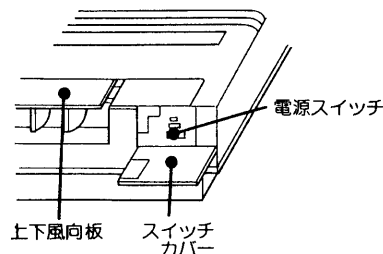
フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

センサードライ運転のしくみ

センサードライ運転は，お部屋の温度が16℃以上のときに運転を行います。

室温が設定室温より高いとき：設定室温まで室温を下げながらのドライ運転となります。
室温が設定室温より低いとき：設定室温に関係なく，自動的に室温より少し低い温度が設定室温になります。また断続運転時は室外ユニットが運転しても，約30秒程室内ユニットから風が出ません。これは除湿効果を高めるためで，そのままお待ちください。

4 冷房運転

準備
- ブレーカーを運転する5時間以上前に"入"にします。（詳しくは☞18ページ）
- 電源スイッチを"入"にします。
- 上下風向板を冷房の範囲にします。（詳しくは☞16ページ）

1 運転モードボタン ／ "冷房"モードを選択します。

運転 表示部に "冷房" を表示させます。

2 室温調節ボタン ／ お好みの室温をセットします。

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

（詳しくは☞10ページ）

設定室温は、"25～28"が冷房時に適した使用範囲です。
"28" にセットすれば部屋の温度はほぼ28℃になります。
なお，セットした数字と部屋の温度は，使用環境によって多少異なることがあります。

3 風速モードボタン ／ お好みの風速をセットします。

風速 **表示部にお好みの風速を表示させます。**

「自動」：運転開始時は "強風" で，セットした温度になると "弱風" に自動的に変わります。
「強風」：冷えが速く経済的な運転を行います。
「弱風」：静かな運転を行います。
「微風」：より静かな運転を行います。

4 主操作ボタン

押します。

運転ランプが点灯します。

（部屋の温度よりもセットした温度が高い場合は，冷房運転をしません。（運転ランプは点灯します。）セット温度を低くしますと運転を開始します。）

お願い
- 外気温度が22℃～42℃の範囲でお使いください。
  外気温度が43℃以上になると，保護装置が働いて室外ユニットが停止することがあります。また，部屋の湿度が高いとき（80%を超えるようなとき）室内ユニットの吹出し口などに露がつき滴下することがあります。
- 冷房運転にしても暖房運転になってしまったり，いつまでも運転されない場合は，他の部屋が先に異った運転モードで運転されていないかお調べください。

タイマーをセットしたいときは
「タイマーセットのしかた」（☞13ページ）をごらんください。

冷房運転中は，次のランプが点灯します。

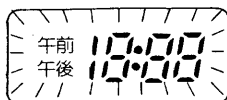
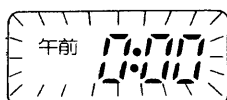
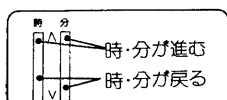
本体表示部

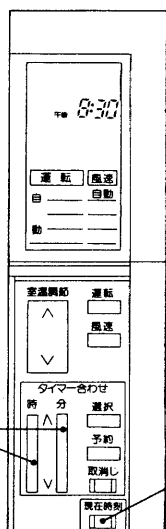
運転：運転中のとき。
タイマー：タイマーがセットしてあるとき。
パワーモニター：冷房運転時の圧縮機の運転状況をお知らせします。
パワーモニターが多く点灯しているときは圧縮機を高速で運転し，パワーアップ冷房を必要としていることを，反対に少ないときは低速で効率の良い冷房運転をすることを表わします。従って通常は室温が低下するにつれパワーモニターの点灯は少なくなります。なお，室温が設定室温に達し，冷房運転が停止しますとパワーモニターは消えます。
（ハイパワー／セーブパワー）
フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

5 タイマーセットのしかた

時計の合わせ方

タイマーは時計式です。電池をセットしたときは必ず現在時刻（時計）をセットしてください。

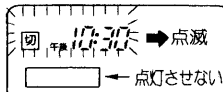
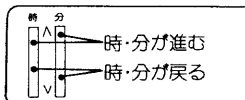
電池をセットしますと表示部に時刻が点滅します。

1 現在時刻ボタンを押します。

2 時刻セットボタンで時刻をセットします。

3 現在時刻ボタンを押します。点滅表示が点灯表示に変わり，10秒後に表示が消えます。

現在時刻を確認したいときは"現在時刻"ボタンを2回押してください。

● 現在時刻(時計)がセットされていないと，タイマー運転はできません。

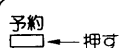
切タイマー

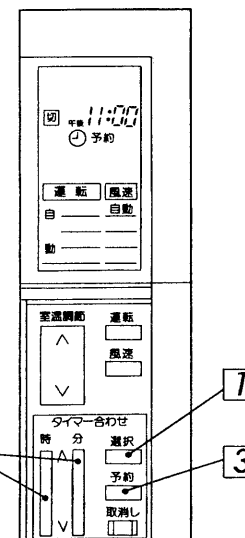
お望みの時刻にエアコンの運転を停止します。

1 選択ボタンを押し，時刻表示部に切時刻のみを点滅させます。

※選択ボタンを押すたびに表示内容が変わります。

2 時刻セットボタンでエアコンを停止させたい時刻をセットします。

3 室内ユニットに向けて予約ボタンを押し，切タイマー運転の予約をします。

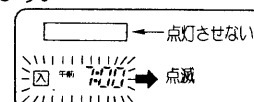
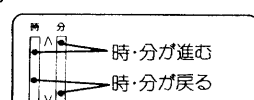
予約 ← 押す

このとき，時刻の点滅が点灯に変わり"Ⓘ予約"が表示されます。

たとえば右図のようにセットしますと，

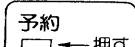
● 午後11時00分に，エアコンの運転を停止します。

● 一度セットした時刻は記憶しています。次回からは予約ボタンを押すだけで同じタイマー運転ができます。
● タイマー運転の予約を取り消すときは，リモコンを室内ユニットに向けて取消しボタンを押してください。

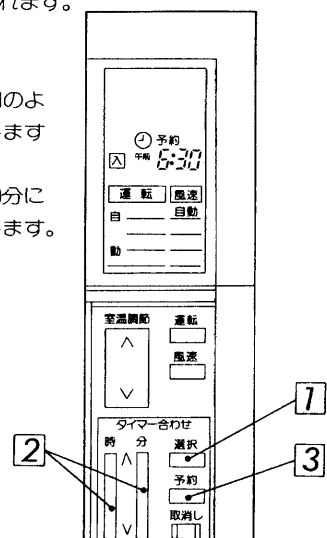
入タイマー

セットした時刻に運転を開始させます。

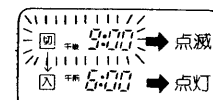
1 選択ボタンを押し時刻表示部に入時刻のみを点滅させます。

2 時刻セットボタンで，運転したい時刻をセットします。

3 室内ユニットに向けて予約ボタンを押し，入タイマー運転の予約をします。

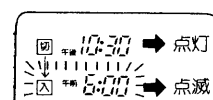
予約 ← 押す

このとき，時刻の点滅が点灯に変わり"Ⓘ予約"が表示されます。

たとえば右図のようにセットしますと

● 午前6時30分に運転を開始します。

切・入タイマー

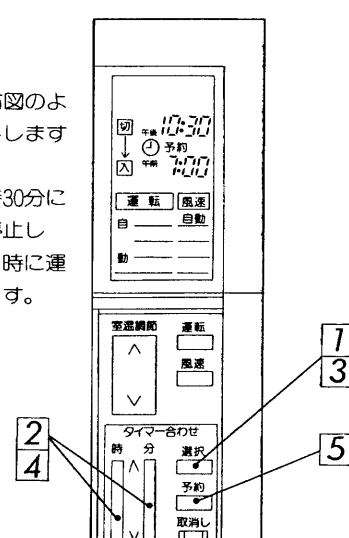
● 切タイマーと入タイマーを組み合わせた運転をします。
● セット時刻の早い方から先に動作します。

1 選択ボタンを押し時刻表示部に切時刻を点滅 入時刻を点灯させます。

2 時刻セットボタンでエアコンを停止させたい時刻をセットします。

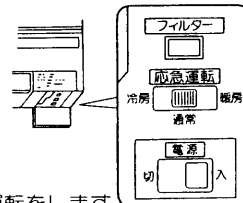
3 選択ボタンを押し，時刻表示部に切時刻を点灯 入時刻を点滅させます。

4 時刻セットボタンで運転したい時刻をセットします。

5 室内ユニットに向けて予約ボタンを押し切・入タイマー運転の予約をします。

たとえば右図のようにセットしますと

● 午後10時30分に運転を停止し
● 翌朝の7時に運転開始します。

6 応急運転のしかた

応急運転スイッチでの運転 リモコンで運転ができないとき

●すぐに運転したいが，電池切れなどでリモコンが使えない…こんなときは，応急運転スイッチを使って運転してください。応急運転スイッチはリモコンで運転操作ができなくなったときに使用するスイッチです。なお，運転内容は冷房運転と暖房運転の二種類です。

1 つまみを"暖房"あるいは"冷房"位置にしますと，次のような内容の運転をします。

	運転内容	
	設定室温(固定)	風速
暖房運転	24℃	自動
冷房運転	25℃	

2 停止するときは，つまみを"通常"の位置にします。

再びリモコンで運転するときは，つまみを"通常"の位置に戻します。この位置に戻しませんとリモコンで運転できません。

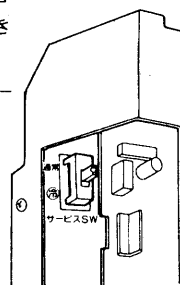
サービススイッチでの運転 応急運転スイッチで運転できないとき使用します。

サービススイッチは，販売店が修理に伺うまでの間，一時的に冷房運転だけができる修理サービス専用のスイッチです。なお，このスイッチは，故障の内容によっては利用できないこともありますので，販売店から指示があったときにだけお使いください。

準備 ●ブレーカーと電源スイッチを"切"にし，前面パネルと電気品カバーをはずします。
●サービススイッチを"冷房"にします。
●電気品カバーと前面パネルを取り付けブレーカーを"入"にします。

サービスSW

運転のしかた

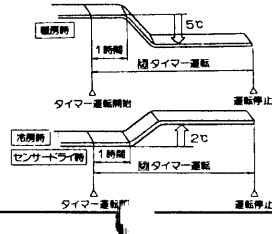
①運転するときは電源スイッチを "入" にします。
②停止するときは電源スイッチを "切" にします。
●このスイッチで運転したときは，室温調節はできません。

次のようなときは自動的に"おやすみ運転"を行います。

夜，おやすみになるとき，切タイマー運転を行い，部屋の照明を消しますと，光センサーの働きで，自動的に"おやすみ運転"を行います。
（なお，蛍光灯の保安球程度の明るさは，点灯しておいても，"おやすみ運転"になります。）

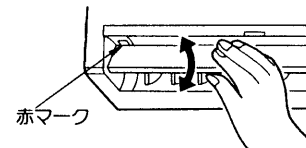
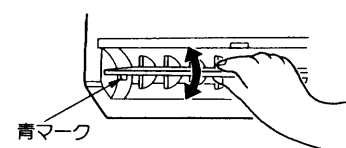
"暖房"時 睡眠に適した温度になるように，セットした温度よりも自動的に5℃下げた運転を行います。

暖房時　5℃　1時間　切タイマー運転　タイマー運転開始　運転停止

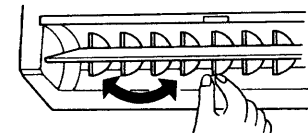
"冷房"時 "センサードライ"時 睡眠に適した温度になるよう，セットした温度よりも自動的に2℃上げた運転を行います。

冷房時　センサードライ時　2℃　1時間　切タイマー運転　タイマー運転開始　運転停止

7 風向調節のしかた

1 上下の風向調節

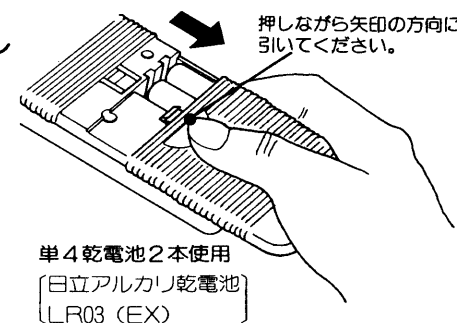
"暖房"の場合
上下風向板を垂直から赤マークの範囲にセットします。
（通常は垂直の位置で使用することをお勧めします。温度分布の良い暖房運転ができます。）

"冷房""センサードライ"の場合
上下風向板を水平から青マークの範囲にセットします。
（通常は青マークの位置で使用することをお勧めします。温度分布の良い冷房運転ができます。）

●風呂上がりなど冷気を直接肌に当てたいときは，一時的に垂直または赤マークの位置で使うこともできます。ただし，長時間この状態で使いますと，上下風向板に露がつき，滴下することがありますので，必要のないときは青マークの範囲にもどしてください。

2 左右の風向調節

図のように持って左右に調節してください。

リモコンの電池について

電池の寿命は，普通の使いかたでほぼ1年です。送信マークの点滅がなくなったら，電池を交換してください。

電池の交換のしかた

①矢印の方向に "ふた" をはずし，古い電池を取り出してください。
②新しい電池を入れてください。⊕(プラス)・⊖(マイナス)はケースの表示どおり入れてください。

単4乾電池2本使用
〔日立アルカリ乾電池 LR03 (EX)〕

ご注意

●電池の誤った使いかたは，液漏れや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。
1 新しい電池と使った電池を混ぜて使わないでください。
2 種類の違う電池（例えば，スーパーゴールド乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使わないでください。
3 2～3ヵ月使わない場合は，電池を取り出しておいてください。
●電池を取り出し，再び挿入する場合は，5秒以上経過してから行ってください。

知っておいていただきたいこと

冷房と部屋の熱源

●部屋の中に冷房能力をこえる熱源（部屋の中に多くの人が一度に入り込む・熱器具を使うなど）がありますと，室温調節ボタンでセットした温度に到達しないことがあります。

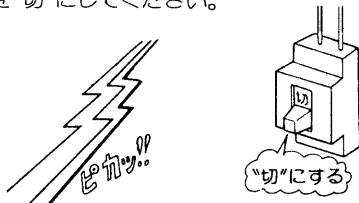
停電したときは

●停電したあと再び電気がきても，保護回路の働きでエアコンは停止したままです。運転を再開するときは，あらためて主操作ボタンを押してください。

落雷のおそれがあるときは

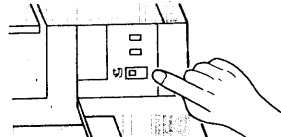
●落雷のおそれがあるときは，機械を保護するために運転を停止して，ブレーカーを"切"にしてください。

電源スイッチについて

●エアコンを運転しない場合は，電源スイッチを"切"にしてください。
電源スイッチが"入"に入っていると，運転していなくても制御回路内でほんのわずか(約3W)電気を消費しています。

室外ファンについて

●暖房運転中，室外ユニットの霜取りを行っているときは運転音がしていても室外ファンは停止します。

●室外電気品を冷却するために，運転を停止にしても室外ファンは10～60秒間運転を続けます。

●外気温などにより，室外ファンの速度は自動的に切り換わります。

積雪について

●室外ユニットの吸込口や吹出口が雪でふさがれることがあります。そのまま運転しますと暖まりにくくなったり故障の原因になることがありますので，このような地域でお使いになるときは，防雪の処置をしてください。（詳しくは，お買い上げの販売店にご相談ください。）

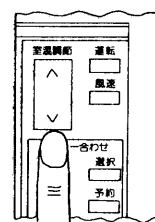
暖房能力について

●このルームエアコンは，外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房ですので，外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合インバーターの働きにより圧縮機の回転数を上げ，能力の低下を防ぎますが，それでも暖まりの悪いときは，他の暖房器具との併用をおすすめします。
なお，ストーブなど高温となるものは，室内ユニットの下や近くに置かないでください。

●エアコン暖房は，部屋全体を暖める暖房ですので，暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをおすすめします。

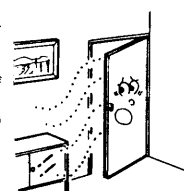
上手な使いかた

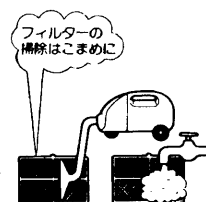
セット温度は適正に

冷やし過ぎ，暖め過ぎは健康上好ましくないばかりか，電気のムダ使いになります。

窓にはカーテンかブラインドを

冷房時，直射日光の当たる窓には，カーテンをかけるかブラインドを下ろしてください。

窓や戸はきちんと閉めて

閉め忘れたり，完全に閉まっていなかったりすると，冷気や暖気が逃げて電気のムダ使いになります。

フィルターの清掃はこまめに

フィルターの目づまりは冷・暖房効果を弱めます。ムダな電気を消費しないためにもフィルターランプが点灯したら必ず掃除してください。

運転の組み合わせは気温や部屋の構造などを考えて

マルチタイプは1台の室外ユニットで複数の部屋を暖・冷房できる便利なエアコンです。しかし，運転の組合せにより室内ユニット1台当りの能力が変わりますので，気温や部屋の構造により上手に使いわけてください。（詳しくは，販売店におたずねください。）

●運転する室内ユニットの数が少ない程，室内ユニット1台当りの能力は大きくなります。

●寒い日の暖房運転では，運転台数を減らしますとよく暖まるようになります。
また，各部屋を同時に運転開始しないで，タイマーを利用するなどして時間をずらして運転開始するようにしますと,後から運転した部屋の予熱時間が短くなりはやく暖まりはじめます。

●暑い日の冷房運転では，運転台数を減らしますとよく冷えるようになります。

クランクケースヒーターについて

圧縮機の始動を円滑にするため，圧縮機を他の機器より若干暖めておくためのクランクケースヒーターがついております。このヒーターは運転中や外気温の高いとき以外は通電されています。ブレーカーを切ると通電されなくなりますのでエアコンを長期間使用しないときはブレーカーを切っておいた方が経済的です。ただし，シーズン始めにはじめて運転するような時には，5時間以上前（例えば前日の晩に）にブレーカーなどを"入"にしておいてください。ブレーカーを"入"にしてすぐに運転しますと故障する場合があります。

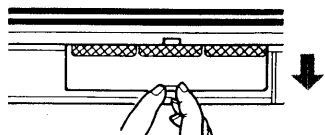
お手入れについて

お手入れするときは必ず運転を止めて，ブレーカーを"切"にしてください。

フィルターの掃除

フィルターにホコリがたまりますと，空気の通りが悪くなり，冷・暖房効果が低下します。次の要領で必ず掃除をしてください。

掃除のしかた

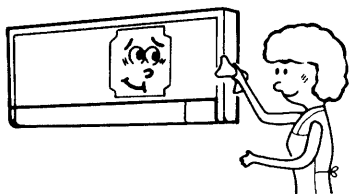
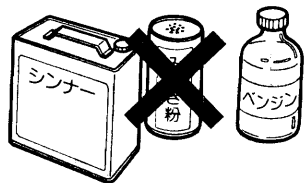
1 フィルターランプが点灯したら掃除する時期です。上下風向板を斜め下向きにし，つまみを持って下へ引き出します。

2 フィルターのホコリは掃除機で吸い取るか，汚れがひどいときは中性洗剤で洗ってください。
なお，洗ったあとは日陰でよく乾かしてください。

3 元の位置に取り付けてください。

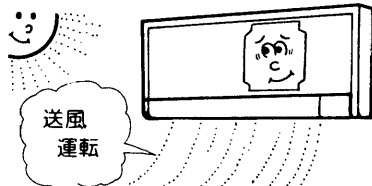
4 フィルターの掃除が終わったらフィルターリセットボタンを押してください。

- **40℃以上のお湯で洗わないでください。**
  フィルターが縮むことがあります。
- **フィルターをはずしたままで運転しないでください。**
  機械にホコリが入り故障の原因になります。

外側の掃除

やわらかい布でからぶきしてください。

- **40℃以上のお湯は使わないでください。**
  プラスチックが変形することがあります。
- **次のようなものは使わないでください。**
  塗装面やプラスチックをいためます。
  ベンジン・シンナー・みがき粉など。

- **化学ぞうきんをご使用の際は，その注意書に従ってください。**
- **直接，水をかけて掃除をすることは絶対しないでください。**
  漏電や感電のおそれがあります。

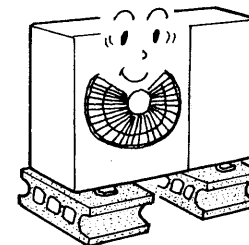
1ヵ月以上使わないとき

- 晴れた日に半日ほど送風運転（運転モードボタンで"送風"にする）を行い，エアコン内部を乾燥させてください。
- ブレーカも切っておいてください。

シーズン前のお手入れ

半年～1年に一度定期的に次の点検を行ってください。
もしご不審な点がありましたら，すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

1 アース線がはずれたり，途中で切れていませんか？

2 雨や塵埃防止のためのカバーなどが室内・室外ユニットに被せたままになっていませんか？
（カバーを被せたまま運転しますと，内部の電気品の温度が高くなるなど，故障の原因となります。）

3 据付台が腐ったり，さびたりして強度が弱くなっていませんか？

仕　様

項目 ＼ 形名		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
		RAM-251BW	RAC-600BHM3	RAM-280BW	RAC-600BHM3	RAM-351BW	RAC-600BHM3
電源		単相 200V		単相 200V		単相 200V	
定格周源数		50Hz・60Hz共用		50Hz・60Hz共用		50Hz・60Hz切換式	
冷房能力（kcal/h）		2600		2800		3550	
冷房面積の目安（㎡）	鉄筋アパート南向き洋室	21		25		28	
	木造南向き和室	14		17		19	
暖房能力（kcal/h）		3600		4000		4520	
暖房面積の目安（㎡）	鉄筋アパート南向き洋室	18		20		22	
	木造南向き和室	14		16		18	
運転電流（A）	冷房	7.2		9.9		10.6	
	暖房＋ヒーター	10.6		13.1		16.2	
消費電力（W）	冷房	1320		1890		1970	
	暖房＋ヒーター	1990		2450		3020	
暖房用ヒーター（W）		560	—	560	—	800	—
クランクケースヒーター（W）		—	20	—	20	—	20
騒音（ホン）		42	52	42	52	42	52
外形寸法(高さ×幅×奥行)（mm）		365×815×156	780×865+65×310	365×815×156	780×865+65×310	365×815×156	780×865+65×310
製品重量（kg）		11	73	11	73	11	73

- この仕様表はRAC-600BHM3と組合せたときの1台運転の数値です。
  その他の組合わせについては販売店におたずねください。
- 能力は冷房時は外気温度35℃，室内温度27℃，暖房時は外気温度7℃，室内温度21℃のときの数値です。

アフターサービスと保証について

1 サービスを依頼されるときは

……と思ったら，次のことをお調べください。

状況	次の点をお調べください
運転しないとき	①ブレーカーが“切”になっていませんか？ ②電源スイッチが“切”になっていませんか？ ③停電ではありませんか？
よく冷えないとき または よく暖まらないとき	①フィルターにホコリが詰まっていませんか？ ②室温調節つまみが適正な位置になっていますか？ ③上下風向板が適正な位置になっていますか？ ④室外ユニットの吸込口や吹出口を障害物でふさいでいませんか？ ⑤部屋の窓や戸があいていませんか？ ⑥特に暑い日や寒い日に3台運転していませんか？（運転台数を減らしてみます。） ⑦同時に冷房運転と暖房運転をしていませんか？

以上のことをお調べになり，それでもぐあいの悪いときや下記の症状のときは，ブレーカを“切”にしてすぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ブレーカー，ヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの作動が不確実なとき。
- 誤って異物や水を入れてしまったとき。
- コードの過熱や被覆の破れがあるとき。

お知らせいただきたいこと

1 形名――RAM-251BW・RAM-280BW・RAM-351BW
（室外ユニットの形名もお知らせください）

2 故障状態―できるだけ詳しく

3 道順――付近の目印も

これは故障ではありません

①**ときどき水の流れるような音や，沸騰するような音（ボコボコ）がすることがあります。**
これは冷凍機の中の液が流れる音で，停止中も出ることがあります。

②**ときどき「プシュッ」という音がすることがあります。**
これは冷凍液の流れの方向を変えるために弁が作動する音です。

③**運転していない室内ユニットからときどき水の流れるような音や，沸騰するような音（ボコボコ）がすることがあります。**
これは冷媒の流れる音が配管を伝わって聞こえる音です。特に運転開始，停止時に一定時間冷媒の流れる音がすることがあります。

④**運転開始時や運転停止時に室外ユニットで「カチッ」という音がします。**
これは弁が開いたり閉じたりする音です。

⑤**ときどき「キシ・キシ」という小さな音がすることがあります。**
これはエアコン自身が温度変化によって膨張したり収縮するために出る音です。

⑥**冷房運転中やセンサードライ運転中に吹出口から霧が出ているように見えることがあります。**
これは低温多湿時に見られる現象で，部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。

⑦**エアコンからにおいが出てくることがあります。**
これは空気中に含まれたいろいろなにおい（たばこの煙，化粧品，食品など）がエアコンに付着し，それが吹き出すためです。

⑧**室外ユニットの運転音の大きさが変わります。**
これは室温に応じて圧縮機の回転が変化するためです。

⑨**霜取り運転時，室外ユニットから湯気が出ることがあります。**
これは熱交換器に付着した霜がとけて蒸発するためです。

⑩**暖房を停止しても，ユニットが運転している場合があります。**
これは，オートフレッシュ除霜がはたらいているためです。（詳しくは☞8ページ）

⑪**外気温の高いときに運転しますと，圧縮機が停止することがあります。**
これは圧縮機を保護するためです。このようなときには室内ユニットの運転台数を冷房運転では少なくし，暖房運転ではふやすなど変えてみてください。

2 アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合，その他お困りの場合は，お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙，「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

3 転居されるときは

ご転居により，お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は，前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

再据付工事のお申込みは

再据付工事（転居または別の部屋に移動）を販売店に依頼する場合は，できるだけ夏期を避けるようお願いします。

夏期は，販売店の据付工事が忙しく，据え付けが遅れることがあります。

なお，据付工事は専門の技術が必要ですので，お客様自身で行わないでください。

（再据付工事は有料です。）

4 補修用性能部品の保有期間について

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は，製造打切後9年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 保証について

1 **この商品は保証書付きです。**

保証書は，販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから，記載内容をご確認いただき，大切に保存してください。

2 **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

（ただし，冷凍サイクル部分は3年間です。）

なお，保証期間中でも有料になることがありますので，保証書をよくお読みください。

3 **保証期間経過後の修理については，販売店にご相談ください。**

修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は，販売店からの注文により，補修用性能部品を販売店に供給します。

6 点検整備について

エアコンを数シーズンお使いになりますと，内部が汚れ性能が低下することがあります。

ご使用状態によっては，においが発生したり，ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることもあります。

通常のお手入れとは別に，点検整備（有料）をお勧めします。点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。

周波数切換スイッチについて

RAM-351BWには，周波数切換スイッチがついています。地域に合った周波数にセットしてご使用ください。特に，ご転居される場合は，ご注意ください。（図は室内ユニットの後側から見たところです。）

（図は50Hz セット状態）

別売り部品について

- 別売りのテレコントローラーを設置しますと，外出先から電話でエアコンの“運転”“停止”ができます。
  別売り部品を設置するときは，販売店にご相談ください。